



平成29年度

子ども農山漁村交流プロジェクト

共催：総務省・文部科学省・農林水産省・環境省

子どもの農山漁村交流は、子どもたちの学ぶ意欲や自立心を育むとともに、受入側の地域活性化につながります。ふるさと生活体験活動に取り組むためには、児童・生徒を送り出す学校側と農山漁村側とが実施前から実施中・実施後まで、協働で取り組むことが欠かせません。この研修では、次のような項目について、学校側と受入側と一緒に学びます。

研修のポイント

- 本事業の社会的意義（学校側、受入側）を学ぶ。
- 教育効果を高める方法や先進的な事例を理解する。
- 受入側の体制や安全管理対策など、学校側の気になる点の解消をめざす。
- 学校側・受入側の事例紹介や受講者同士の意見交換を通じて相互理解を深める。

本年度も、受入先進地を訪問し、受入家庭の皆さんとの意見交換や体験活動の実地研修を行います。本研修は、総務省・文部科学省・農林水産省・環境省との共催、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構の協力により実施します。子ども農山漁村交流プロジェクトに携わる方が一堂に会する研修です。皆様のご参加をお待ちしております。

「子ども農山漁村交流プロジェクト」とは：

平成20年度から、総務省、文部科学省、農林水産省の連携により、小学校における農山漁村での体験活動が進められています。全国の小学校において1学年に相当する児童が自然体験活動等を行うことをめざして、小学校における農山漁村での長期宿泊体験活動を推進する取り組みです。

このプロジェクトを通じて、次のような効果が期待されます。

- 子どもたちの学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育む（学校側）
- 受入地域の活性化を図る（受入側）

開催要領

日程

平成29年7月26日(水)～7月28日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村・都道府県職員、市区町村・都道府県教育委員会職員、学校教職員、市区町村・都道府県が推薦する受入地域協議会、NPO、PTA関係者等の皆様

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください（各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。）。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

40人 募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊

研修所宿泊棟（宿泊型研修） ※外泊はできません。

経費

11,290円 左記金額は、研修、宿泊、食事（朝食2回、昼食2回、夕食2回）、実地研修、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用及び最終日の昼食代は含まれておりません。

申込期限

平成29年6月20日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
受入地域協議会、NPO、PTA関係者等の場合は、活動内容の記載が必要になりますのでご注意ください。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集 (<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、自団体の紹介や取組資料、事前アンケートをご提出いただけます。
詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <http://www.jiam.jp>

平成29年

7月

26日(水)

11:00 ~
入寮受付・昼食

12:30 ~
開講・オリエンテーション

13:00 ~ 13:15

導入講義

(一財)都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之氏

「子ども農山漁村交流プロジェクト」について、仕組みを始め、その意義や効果などについて、解説します。

13:15 ~ 13:50

学校側の事例紹介 特色ある先進的な取組事例の紹介①

広島県呉市立波多見小学校 教諭 山形 武氏

「自ら進んで活動し、自分の役割を果たす」、「自然の美しさや伝統文化に触れる」などのねらいで宿泊体験活動に取り組みられています。取組における課題解決や、活動のノウハウなどを紹介します。

13:55 ~ 14:30

受入側の事例紹介 特色ある先進的な取組事例の紹介②

五しの里さじ地域協議会 会長 藤原 俊文氏

地域資源を中心とした体験メニューを整備し、主に県内の小学校の宿泊体験活動の受け入れに取り組みられています。継続的な受入体制の構築や、豊富な体験メニューの提供のノウハウなどを紹介します。

14:35 ~ 15:10

コーディネーターの事例紹介 特色ある先進的な取組事例の紹介③

五しの里さじ地域協議会 コーディネーター 谷上 雄亮氏

送り手側と受入側の間に立ち、円滑かつ効果的な宿泊体験活動の推進に尽力されておられます。コーディネーターとしてのノウハウなどを紹介します。

15:20 ~ 17:00

パネルディスカッション

(学校側) 広島県呉市立波多見小学校 教諭 山形 武氏

(受入側) 五しの里さじ地域協議会 会長 藤原 俊文氏

(コーディネーター) 五しの里さじ地域協議会 コーディネーター 谷上 雄亮氏

(進行) (一財) 都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之氏

農山漁村でのふるさと生活体験活動の意義等を考えると、学校側と受入側双方の課題を共有し、解決に向け協働で取り組む大切さなどを意見交換します。

17:30 ~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

8:00 ~ 14:20

**先進地視察 滋賀県日野町における受入家庭と生活体験活動の取組
日野町における体験型観光の取り組み、受入家庭等との意見交換**

受入先進地の滋賀県日野町を訪問し、生活体験活動を実際に体験していただきます。また、受入家庭等との意見交換などを通じて、学校側のニーズや受入側の課題等を考えます。

14:30 ~ 16:05

グループワーク ふるさと生活体験活動に取り組む上で想定される学校側と受入側の期待と課題

(一財) 都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之氏

学校側: 学校関係者による学校によるふるさと生活体験活動の期待と課題の整理

受入側: 受入関係者による学校によるふるさと生活体験活動の期待と課題の整理

学校側と受入側のグループに分かれて、学校によるふるさと生活体験活動に取り組む上での相互の期待と課題を整理します。

16:20 ~ 17:30

講義 学校側と受入側の協働によるふるさと生活体験活動のプログラムづくりの要点

国立山口徳地青少年自然の家 所長 小林 真一氏

学校側の教育目標と受入側の取組目標を総合して、教育効果の高い体験プログラムをつくるポイントについて解説していただきます。

9:00 ~ 11:10

グループワーク・発表・総括 ふるさと生活体験活動を普及実践するためにできること

(一財) 都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之氏

国立山口徳地青少年自然の家 所長 小林 真一氏

ふるさと生活体験活動を普及実践するためにできることを、この研修で得た情報を参考にして各グループで検討します。最後に講師による講評をいただきます。

11:20 ~ 12:30

国の支援施策説明 「子ども農山漁村交流プロジェクト」関連支援施策

総務省、文部科学省、農林水産省、環境省

12:30 ~ 13:00

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

平成29年

7月

27日(木)

8:00 ~ 14:20

**先進地視察 滋賀県日野町における受入家庭と生活体験活動の取組
日野町における体験型観光の取り組み、受入家庭等との意見交換**

受入先進地の滋賀県日野町を訪問し、生活体験活動を実際に体験していただきます。また、受入家庭等との意見交換などを通じて、学校側のニーズや受入側の課題等を考えます。

14:30 ~ 16:05

グループワーク ふるさと生活体験活動に取り組む上で想定される学校側と受入側の期待と課題

(一財) 都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之氏

学校側: 学校関係者による学校によるふるさと生活体験活動の期待と課題の整理

受入側: 受入関係者による学校によるふるさと生活体験活動の期待と課題の整理

学校側と受入側のグループに分かれて、学校によるふるさと生活体験活動に取り組む上での相互の期待と課題を整理します。

16:20 ~ 17:30

講義 学校側と受入側の協働によるふるさと生活体験活動のプログラムづくりの要点

国立山口徳地青少年自然の家 所長 小林 真一氏

学校側の教育目標と受入側の取組目標を総合して、教育効果の高い体験プログラムをつくるポイントについて解説していただきます。

9:00 ~ 11:10

グループワーク・発表・総括 ふるさと生活体験活動を普及実践するためにできること

(一財) 都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之氏

国立山口徳地青少年自然の家 所長 小林 真一氏

ふるさと生活体験活動を普及実践するためにできることを、この研修で得た情報を参考にして各グループで検討します。最後に講師による講評をいただきます。

11:20 ~ 12:30

国の支援施策説明 「子ども農山漁村交流プロジェクト」関連支援施策

総務省、文部科学省、農林水産省、環境省

12:30 ~ 13:00

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

平成29年

7月

28日(金)

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。